

月刊

語学のススメ新聞

6月号

Hello!! from Nagoya!!~Chiko's column~



みなさん、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか。気付けばもう6月ですね。梅雨のシーズンに入ってしまった。みなさんは梅雨のシーズンに気持ちを上げるために何か対策をしていますか？私は、朝ストレッチをしながら好きな音楽をかけて「よーし、今日も頑張るぞー！」と気合を入れています。最近一つ気づいたことがあります。それは、雨の日も案外悪くないな・・・と感じるようになったということです。イギリスで雨の日を多く過ごし、あのなんだか憂鬱で切なくなるような雰囲気乗り越えてきたからでしょうか(笑)最近雨が降る様子を見つめるのもなんだか、悪くないと感じるようになりました。最近雨は降る様子を見ながら、あの襲ってくる憂鬱な気持ちや切なくなる気持ちを

少し愛おしいと感じるようにさえなりました。少し成長したのでしょうか(笑)さて、先月号でお話した、タイの大学の面接ですが、なんと仕事のオファーを頂くという結果になりました。色々考えましたが、大学で働くチャンスを手握もうと決めました。ということで、私Chikoは8月からなんとバンコクに住むことになりました！大学はバンコク市内にあるので、住居もバンコクになる予定です。8月からこのコラムは「Hello!! from Thailand!!」ということになりそうです！最近日本語学校で教えながら、タイへの引越し準備を進めるという毎日になっていますが、もう一つ大きい出来事がありました。それは、な、な、なんと、イギリスで一緒に住んでいた私の親友 Clara が日本に遊びに来たのです！実はこのコラムを書いている今も、クララは日本滞在中です。(クララ知らない！！という方は過去のコラムを読んでもらえば、クララが登場してますので、どんな人かわかります！)実は私が、イギリスから日本に帰るとき、「絶対会いに行くから！」と言ってくれていたのですが、といってもまたいつ会えるかななんて思っていました。が、しかし帰国後2週間後に、「有給休暇と日本行きチケットとったから！会いに行くよー！」と連絡が来ました。こんなに早く来てくれるなんて、思ってもいなかったの、クララが来日するのをずっと心待ちにしていました。そして、ついに来日！！空港まで迎えに行き、会った瞬間、抱きついて号泣！！と言いたいところですが、実際クララを目の前にしたら、抱きつく前になんだか嬉しさがジワジワ涙がすでに滲んでしまっていました(恥)。クララは相変わらず強い女性なので、「え！Chiko どうしたちゃったの？！なんか悲しいことでもあった



クララと富士山を見て、金閣寺にも行きました！！

の？！」なんて言って、私の気持ちには全く気づいていないようでしたが(笑)その後、しっかりハグをしてくれました。さて、今回クララの滞在は2週間ほどですが、日本で行きたいところがたくさんあるようで、全部回りきれないのではないかと心配ですが、週末プラス数日頂いた休みでできるだけガイドをしています。そして、先週はついに私の名古屋の実家にも遊びに来て、泊まり、実家のイタリアンレストランにも食べに来てくれて、嬉しすぎる日々を過ごしています。クララはシェフなので、行くところ行くところで食材や料理を堪能し、とても日本を気に入ってくれているようです。そんな様子を見ると、なんだか日本人として日本をとて誇らしく感じます。さて、そんなこんなでバタバタと終わって行く毎日ですが、時間は確実に過ぎていっています。また新しい地で新しい目標を定め、色々な人に出会い、自分の描いているビジョンに少しずつ近づいていくには、やはり自分自身の成長が必要だと最近感じています。色々な経験を通して、それをしっかり受け止められる自分、そしてそれを次に繋げていける自分でありたいと思っています。大好きな友達からまたポジティブなパワーをもらい、どんどん前に進んでいくぞー！！とさらに気合が入る最近のChikoです。それでは、今月も、元氣いっぱいで行きましょう！

Chiko

元氣が出る!! 今月のおすすめの一冊。

みなさんこんにちは！日々ジメジメむしむししてきますが、お肌はそんなうっとうしい湿度を嬉しがっているかもしれません。いやもしかしら、皮膚にとっては1年で最高の季節！♪待ち焦がれていた…この…たつぷりの湿度～、生き返る～♪なんて思っているかもしれませんね(笑) 歌手の平原綾香さんは、ご自身の喉というか声帯を1つの楽器のように考えていて、真夏でもエアコンなしで加湿器をつけて汗だくになりながら睡眠をとるそうです。徹底してますよね。映像で見る平原さんの肌のキメ細かさ、そんな普段からの高湿度で保たれているのでしょうか？余談はこの辺にいたしまして、今月のおすすめの一冊は、無能唱元著『人蕩し術(ひとたらしじゅつ)』です。ビジネスにも役に立つ!?ということで読んでみたのですが、とんでもない内容でした。

無能氏が説くのは、人生における成功とは、自分の陣営に「いかにして良き味方を得られるか」にかかっている。他のすべては、些末に過ぎない。日本人で過去最も出世したとされる豊臣秀吉、現代で言えばホンダを築いた本田宗一郎は、ずば抜けて魅力的でしたが、世間一般でいう優秀な人物ではなかった。一般的に、一生懸命勉強して賢い人になるように教育されるが、実際のところ、成功している人たちを見ると、それだけでは事足りない、もっと大事なことがある。それは何か？成功する人は、他の人間を友や味方となし得るが、成功できない

人間、自分の周囲を敵や無関心者によって囲まれてしまう。だから身につけるべきは、「ただただ人に好かれ、多くの人を味方とする能力」、名付けて、人蕩し術(ひとたらしじゅつ)である、というわけです。最近の報道を見ていると、新潟県の米山(元)知事なんて、東大の医学部卒業で、しかも司法試験もパスした凄まじい秀才ですよ。そんな人が、出会い系サイトで出会った複数の女性と交際し金品を渡した…なんてねえ、学業ではなくもっと違う能力を磨いてくれば、こんな惨めなことにならなかつたんじゃないかなあ、と思うわけです。

話を元に戻すと、「ただただ人に好かれ、多くの人を味方とする能力」、無能氏の言う「人蕩し術」というのは、一般的に「魅力」と呼ばれるものです。ではその「魅力」の正体とはなんなのでしょう？例えば、教育がなくても魅力的な人はいます。胴長短足でも女性に人気のある男性、お金持ちでないのに人を惹きつける力を持っている人、田舎者で品性に欠けるけれど多くの人に愛される人柄…というふうに、魅力のある人は様々です。こう考えると、「魅力」とは知識・マナー・品性・生まれた背景・財産・男前(美人)などの多い少ないには拠りません。逆に、才能の使い方を一歩間違えると「才能はあっても嫌いなヤツ」と、大勢の人々に嫌われてしまう危険性もあるのです。なぜなら、才能とか、他人より優れた特質というのは、それ自体が魅力そのものではないからです。

ここで無能氏は才能を2つに分けて考えていきます。1つ目は、普通に言



われている「才覚能力」、知識や技術などです。2つ目の才能は、「誠実さ」や「他人のために尽くすこと」、そのような能力です。1つ目の才能に対して、周りの人たちは「羨望」を抱きますが、2つ目の才能に対して抱く人々の気持ちは「人望」です。そして前者は「羨み→恨み」に転じやすく、それに対して後者は「好意的な希望」を周りからいつまでも寄せられるのです。

このように無能氏は、「人間的魅力」とは、2つ目の才能だと分析し、その源は、リラックスの中

にあると考えます。魅力とは、内面的なその人の心の働きによって、外に滲み出てくるものです。滲み出るものだからこそそれは、その人の才能の多寡、社会的身分、容姿などに関係なく、周りの人々の心を捉えてしまうのです。また通常それは、「その人の人柄」や「生まれながら自然にその人に備わっているもの」と考えられがちですが、このような内面的な魅力は、自己コントロール(後天的な努力)で身につけることができる、と言います。

この「人蕩し術」を身につけるにはまず、ゆとり・余裕といった心的態度が必要です。そのためには、あまり真剣に「何が正しいことか?」などということを追求するのをやめて、「明るく、楽しく暮らす」よう考えるといいそうです。ではその上で、どうすればよいか? 何を実践すれば良いのか? それは、

魅は 与によって生じ 求によって滅す

単にこの原理を実践するだけでOKです。念のために読み方は、「みは、よによってしょうじ、ぐによってめつす」です。つまり、あなたが他

人に何かを与えれば、あなたに「魅きつける力」は生じ、あなたが他人から何かを取ろうとすれば、その力は即座に消えてしまう、のです。それでは、なにをあげればよいのでしょうか? 無能氏は、人間は5つの本能的衝動をもって、この5つの本能を自ら充足し、その上で、他人の不足をも充足できれば、その時、無数の人々を魅きつける、素晴らしい魅力を身につけることができる、と言います。

【5つの本能的衝動】

①生存本能 ②群居衝動 ③自己重要感 ④性欲 ⑤好奇心
例えば、彼が、小さな贈り物を彼女に差し出す時のシーン。

彼：これ安物だけど…

彼女：贈り物は高い安いじゃないわ。気は心よ。

物を人にあげるということは、まず**生存本能**を充足させます。同時に、相手を尊重しているという気持ちも含まれるので、そのプレゼントを受け取る相手の**自己重要感**も充足されます。さらに、それは相手に、自分と仲良くしてほしいと願っているのも、これは**群居衝動**も充足しようと働きかけています。このように、それぞれが関係しあいながら働きます。

また、①の生存本能は、有形のもの(お金、物など)で充足されますが、②~⑤は無形のもの(愛、笑顔、思いやりなど)で充足されます。何にも持っていないようでも、あげられることって沢山あるんですね。これは仏教の「**無財の七施**」と同じようなものかもしれませんね。

- 1.眼施 (げんせ) やさしい眼差(まなざ)して人に接する
- 2.和顔悦色施 (わげんえつじきせ) にこやかな顔で接する
- 3.言辞施 (ごんじせ) やさしい言葉で接する
- 4.身施 (しんせ) 自分の身体でできることを奉仕する
- 5.心施 (しんせ) 他のために心をくばる
- 6.床座施 (しょうざせ) 席や場所を譲る…場合によっては自分の地位を譲って後のことを託すという意味も含まれる。
- 7.房舎施 (ぼうじゃせ) 自分の家を提供する…四国ではお遍路さんをもてなす習慣があるため、人を家に泊めてあげたり、休息の場を提供する。こんな風に、磨くべき能力の方面を変えてみるのも、これからの時代に求められるかもしれませんね!? どんなに時代が急速に変わろうと、AIにだって「人蕩し術」は真似なんてできないと思います。 まとめ 小林義和

Rie's column~陶芸



皆さんこんにちはスタッフのRieです。先日友人達と陶芸家の友人を訪ね、茨城県の笠間に行って来ました。関東で窯場という、以前この新聞にも少し触れました栃木県の益子が有名だと思えますが、実は笠間は益子よりも古く、元々は信楽からの陶工が築いた窯場だそうです。東京(当時は江戸ですが)に近いという立地条件が良かった事もあり、笠間藩主の仕法窯になり、そこで取れた土の焼き上がりが丈夫であったので、当時の日用雑器としては理想的だったようです。そして、笠間焼は『特徴がないのが特徴』と言われていて、戦後は伝統にこだわらない自由な作品が作れる窯場を求め、各地から若い陶芸家達が集まり、外国人も好んでそこを訪れ修行すると言うLiberalなイメージを持って



その近くの『松島』という御菓子処の「ゆべし」はクルミがたっぷり入っていて本当に美味しいです。さて、この友人宅に着くといつも恒例でお手製のピザを頂きます。今回は数人で実際にPizza dough (ピザ生地)を伸ばし、そこにhomemadeのピザソースをのぼし、スモークサーモン・ハム・ベーコンやvarious vegetablesを乗せ、最後にチーズを乗せ、友人が築窯したピザ窯で焼きます。これが、もう、お世辞抜きで最高に美味しいのです! doughのレシピは聞かなかったのですが、生地がもちもちし

て、具沢山で、(あ、これは私達がもりもり具を乗せているのですが、)お腹が一杯になった後は、皆で作陶をし、1日があっという間に過ぎ夜遅く横浜に戻りました。楽しかったです♪ この友人宅は一般にはオープンしてませんが、笠間の駅近くで沢山陶芸の体験の看板を見ましたので、観光ついでに作陶されても良いと思います。そして、今回初めて行った地元の作家さんの作品が観れる素敵な回廊ギャラリー『門』もオススメです。後の見所は、少し笠間の町から離れていますが、『常陸国出雲大社』という所もありますよ。こちらのしめ縄は島根の出雲大社と同じぐらい大きく圧巻です! こちらは前回1月に行った時に寄りましたので今回はスキップしました。笠間は紅葉も綺麗なようですので、秋の行かれるのもオススメです。